

山崎功 やまざき いさみ イタリア研究家。明治四十年一月、二十五日東京生れ、
昭和五十八年六月二日没（九〇七一八三）。筆名まきけいじ、二丁半左、竹
中東一、Y等。昭和五年東京外國語學校伊詩部卒。讀賣新聞社入社、
讀者相談部長、論説委員兼任。

著譯書『ローマ墜落の賦』（昭和二十二年四月、二十日岩波書店）、『現
代イタリヤ史』（昭和二十年四月、二十日岩波書店）『岩波新書』（『イ
タリヤとわが国』（昭和二十九年一月、二十五日岩波書店）『岩波新書』（
『パルミーロ・トリアッティとその生涯と業績』（昭和四十年八月十
二日合同出版株式会社）、『ヤントニオリーグラムシーとその生涯と時
代』（昭和四十一年十一月、二十五日岩波書店）、ナポリターノ著『マイ
タリヤ共産党との対話』（訳、昭和五十一年十月、二十日岩波書店）『岩
波新書』（『わが回想—イタリヤとの六十年』（山崎功先生を励ま
す会編、昭和五十八年四月十五日同時代社）等。

没後『回想の山崎功』（昭和五十九年六月二日待東明美・恒美刊）出
版。

